

町長一般経過報告

第4回広野町議会定例会

“日本一元気な町づくり” ふる里復興・創生「^{ぜんしん}漸進の年」 —いのちを守り、人を活かし、未来をつくる町—



遠藤町長

令和6年第4回広野町議会定例会が12月12日から13日までの会期で開催されました。一般質問を経て議案審議がなされ、すべての議案が原案どおり可決されました。

会期初日には、遠藤町長が第3回定例会（9月開催）以降の町政経過報告を行いました。町民のみなさんにお伝えしたいことがたくさん盛り込まれていますので、主な内容の抜粋を掲載します。

議会事務局

10月28日、岩手県葛巻町議会輝くふるさと常任委員会が行政視察研修のため、広野町を訪れました。研修は、令和5年5月25日に締結した岩手県葛巻町と広野町における「特産品振興・観光交流に関する協定」に基づき、広野町における取り組みやJヴィレッジを拠点とするスポーツ交流の推進、地域特産品の開発、地域公共交通活性化事業等について、現地視察を行いました。葛巻町からは鈴木町長、鈴木議長、辰柳輝くふるさと常任委員長、議会議員8人、事務局2人が来町しました。



葛巻町議会行政視察研修

総務課

9月21日、行政区長会議を開催しました。令和6年度における広野町の重点事業進捗状況と要望、質問への対応等について説明を行いました。行政区長の皆様からいただいた貴重なご意見を施策に反映し取り組んでいきます。

9月30日、被災地復興の展望に向けて、「広野町復興創生の日」記念式典を、森まさこ参議院議員、復興庁福島復興局長、福島県相双地方振興局長、広野町議会議長並びに議会議員、行政区長、町民の方など約80人参加の下、広野町公民館大会議室で挙行了しました。式典において、「福島



広野町復興創生の日

の復興と廃炉の展望」と題し、早稲田大学 国際学術院・大学院アジア太平洋研究科教授松岡俊二様から基調講演をいただきました。

10月15日告示、10月27日投票の日程で第50回衆議院総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が執行されました。投票率向上に向け、防災行政無線及び広報車による定期的な広報活動を行いました。投票率は、衆議院総選挙小選挙区で56・85%、比例区で56・83%、最高裁判所裁判官国民審査で56・70%となりました。

10月19日、行政区長による中間貯蔵施設見学会を開催しました。参加された行政区長から土壌貯蔵方法や再資源化などへの質問があり、現地視察を通じて、中間貯蔵施設及び復旧に向けた取り組みへの理解が深まりました。

10月27日、生活環境の美化と保全、地域コミュニティ再生を目的とした行政区クリーンアップ作戦を実施しました。多くの町民の皆様にご参加いただき、町内各地の環境美化に取り組みました。

10月31日、広野町行政機構改革検討委員会委員長の副町

長より町長へ提言書の手交が行われました。同委員会は、課長補佐相当職員を中心とした17人の委員で構成されており、効率的な行政執行を行うことを目的として、計6回の委員会を開催し、提言書のとりまとめを行いました。

復興企画課

9月14日、「ふたばワールド2024 in ひろの」が二ツ沼総合公園内の特設会場において、土屋品子復興大臣はじめ、国・県等、多くの来賓者を迎え盛大に開催されました。当日は小雨模様でしたが、地元団体の迫力ある芸能披露や歌手、ものまねタレントの



ふたばワールド2024

ステージ、ふたばの大鍋の振る舞いがあり、参加町村の地元産野菜や特産品の販売、PRブースが出店され、約4,500人の来場がありました。

10月4日、広野夢大使である平井元喜様が表敬訪問され、祖父である平井康三郎氏が作曲し、額賀誠志氏が作詞した童謡「とんぼのめがね」の生誕の地である常平地区を視察しました。平井様はピアノリストとして世界中で活躍しており、この度の訪問に先立ってイギリスロンドンで開催したチャリティコンサートで売り上げの一部を浄財としてご寄付頂いております。また、こども園にも立ち寄り、自ら電子ピアノをお弾き下さり、園児と一緒に「とんぼのめがね」を歌われました。

10月12日、第27回ひろの童謡まつり音楽祭が、童謡夢大使 眞理ヨシ子様ほか、日本童謡協会所属の歌手の皆様、広野こども園の園児、広野小・中学校の児童・生徒、ふたば未来学園、合唱団「めじろたち」、今回が初めての参加となる福島県庁混声合唱団「きびたき」を加えた出演者

兵庫県たつの市からは教育長様、議会議長様らをご招待申し上げ、約600人の来場者の皆様のもとに開催しました。音楽祭では、たつの市と広野町から生まれた童謡を歌い継ぐとともに、童謡文化の継承を図り、童謡による町づくりをより一層推進させるべく取り組みました。

10月13日、秋季広野町長杯パーゴルフ大会レッドカップが開催され、町内外から約150人の参加者の下、日頃のプレーの成果を発揮しようと熱戦が繰り広げられました。当日は秋晴れの絶好のコンディションの下、参加者はベストスコアを目指し熱戦が繰り広げられました。難コースにおいても、ホールインワンを複数記録する等盛り上がりしました。

10月26日、広野スタイル2024を開催し、会場の二ツ沼総合公園にはFMX（フリースタイルモトクロス）の迫力あるショーを見るため約1,500人の来場者がありました。会場では、様々なスポーツイベントや体験型アトラクション、キッチンカーや物販ブースが立ち並び、多く

の家族連れで賑わいました。

11月6日、伊藤忠彦復興大臣、興水恵一復興副大臣が来訪され、この機を捉え、大臣、副大臣に対し、町と議会の合同要望書を渡邊議長と共に手交しました。大臣並びに副大臣とは、就任の挨拶のあと今後の復興事業の方向性について意見交換をいたしました。



伊藤忠彦復興大臣へ要望書手交

11月11日、第30回廃炉・汚染水・処理水対策福島評議会

がいわき市ワシントンホテルを会場に開催されました。本来であれば岩田和親経済産業副大臣が議長として参加するところ、国会出席の必要性から辻本圭助経済産業福島復興推進グループ長を議長代理として、15市町村長、県漁業組合連合会、県商工会連合会、原子力災害対策本部 廃炉・汚染水・処理水対策チーム、原子力損害賠償・廃炉等支援機構、復興庁などの関係機関、東京電力ホールディングス株式会社社廃炉推進カンパニー、福島復興本社の事業者、総勢50人が出席しました。広野町は、適正な原子力事故収束を図るためミスを起こさない組織運営、将来人材の育成を念頭においた体制づくりを求めました。

11月18日、いわきスポーツクラブ「いわきFC」が活躍しているJ2リーグシーズン終了に伴い、大倉智代表、田村雄三監督、所属選手及びスタッフら総勢33人が、ホームタウンへ今シーズンの結果報告に来訪されました。広野町から、来シーズンの活躍を祈念し広野産とんぼのめがね米を贈呈しました。